

6

郊外住宅地

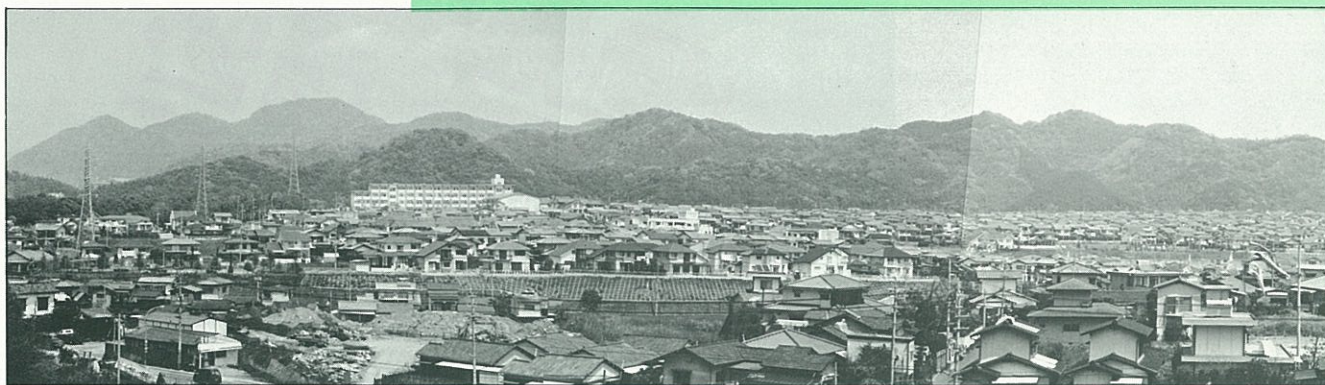
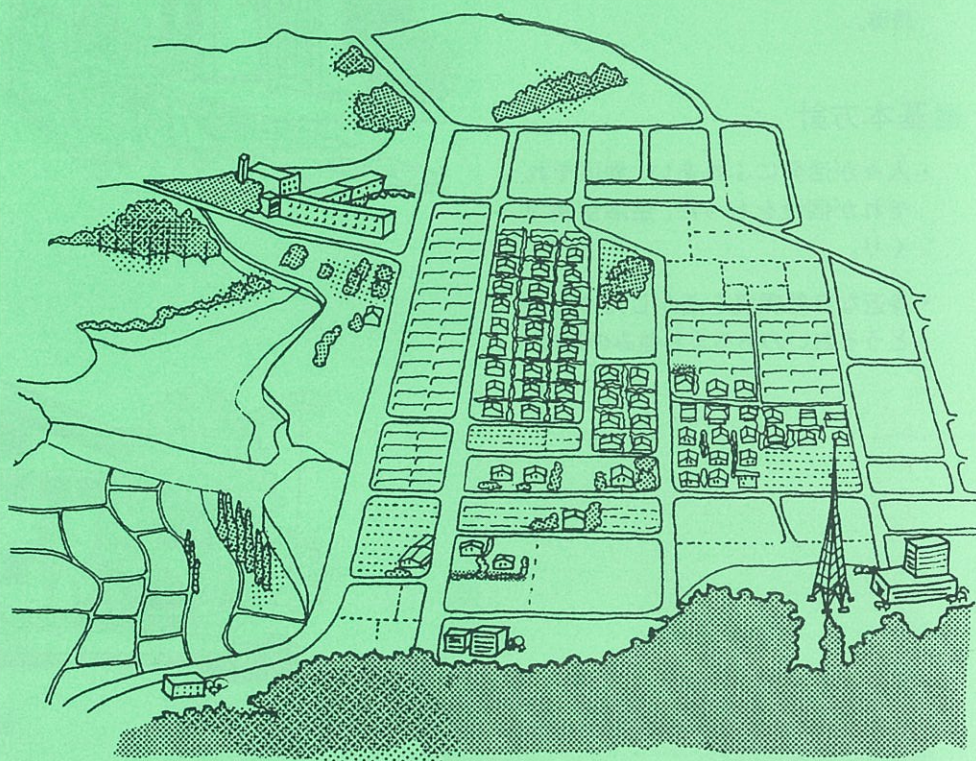
下山門・橋本、月隈、
和白地区等



一般特性

[形成過程]

郊外の農地や丘陵地において、市街地の拡大により、宅地化が行なわれ、現在も開発が進行している地区。



景観特性

■自然系

[緑]

山並み等の自然緑地が多く残り、広がりのある田園地帯と一体となってゆとりを感じさせる郊外的な景観をつくりだしている。

[水]

河川の上流域にあたる部分は、水質汚濁も少なく身近な水棲生物にも接することができる水辺空間となっている。



■歴史系

古代遺跡が多く確認され、また埋蔵が予想されている地区であり、歴史的に価値ある発見が近年続いており、歴史的ロマンを醸し出している。農業、漁業の神をまつり、古代から地域の催事を中心となってきた由緒ある神社があり、地域住民の誇りうる歴史的景観となっている。

■都市系

[まち並み]

農地や山林の一部が開発され、戸建住宅や共同住宅団地となっている。田園や山並みに囲まれて、緑豊かな開放感のある郊外住宅地の景観をもつ。

この地区には、計画的団地が多く、良好な生活環境をもったまとまりのある新しい地域を形成しつつある。

バイパス沿線には、郊外型レストランやサービス施設があり、派手な建物、広告・看板などにより特有の景観となっている。

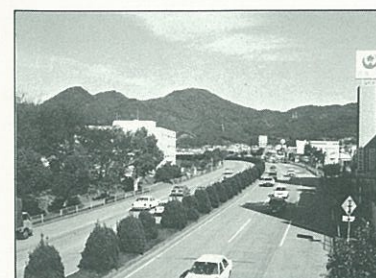
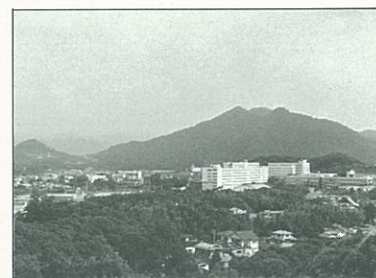
[道路]

幹線道路となるバイパス等は、近年整備されたもので、広い幅員の中で街路樹のある歩道をもっており、ゆったりとした道路空間となっている。また、大規模な住宅団地へのアプローチ道路、地区内道路等もわかりやすく整備されている。

農地が虫食いのミニ開発された箇所などは、既存の細街路を利用しているため、幅員、形態とも不十分で統一、秩序を欠いたうろたの乏しい街並みの原因となっている。

[動向]

宅地化は、急激ではないが着実に進んでおり、今後、一般住宅地同様、緑や開放感が少なくなる可能性がある。



■その他

バイパス沿線の広告・看板は大型で量も多く郊外の開放型風景の美観を損ねているものがある。

課題と基本方針

■課題

- ・居住環境の悪化を誘発するミニ開発の防止。
- ・地域に埋もれがちな史跡を活かした公園広場の整備。
- ・幹線道路沿線の大型広告・看板の規制・誘導。

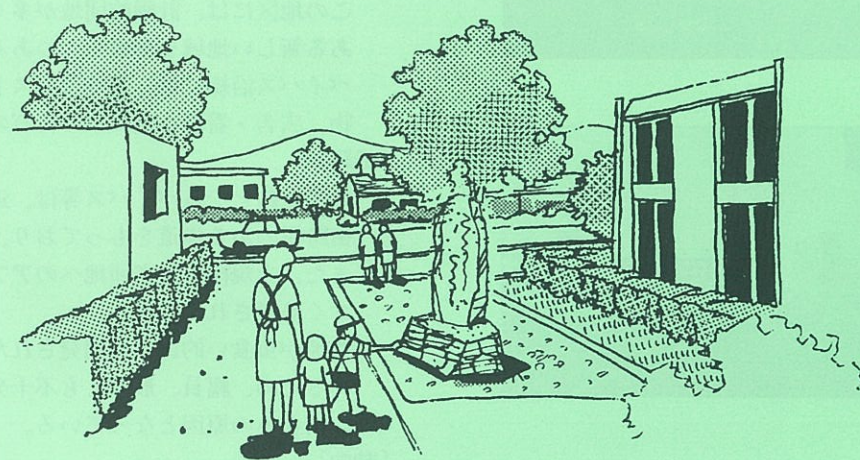
■基本方針

- ・自然環境（農地、水辺、鎮守の森等）と調和したゆとりのある生活空間づくり。
- ・史跡等をまちの個性として活用する地域形成。

整備イメージ



自然環境と調和した生活空間



史跡等を活かしたまちづくり

7 海辺と田園

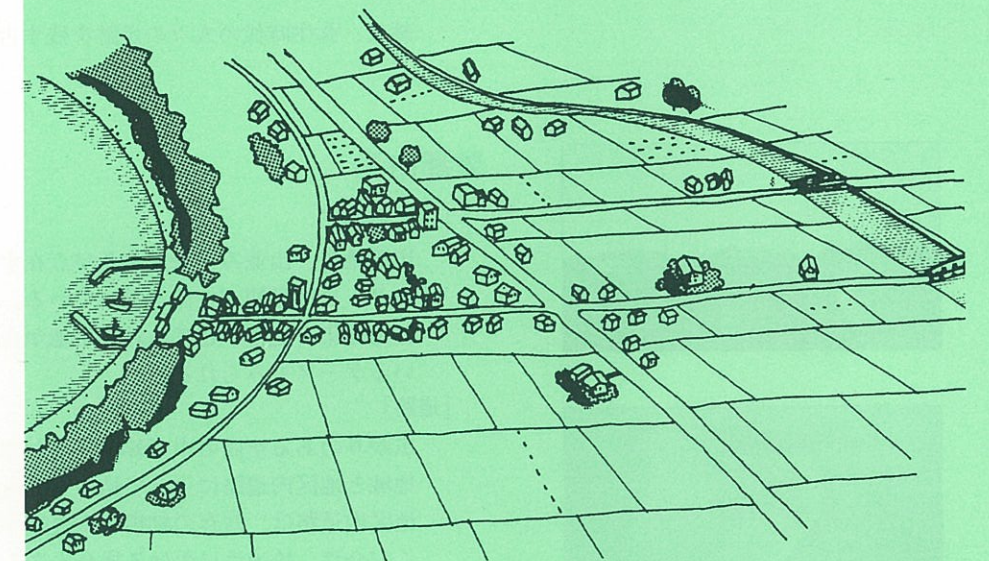
今津、脇山、蒲田、志賀島・海の中道地区等



一般特性

[形成過程]

都市周辺の農地として開墾されて以来、田園地帯に農村集落があり、また恵まれた自然海岸に漁村集落が点在するという典型的な農漁村風景を維持してきた地区。



景観特性

■自然系

[緑]

山並みの緑が背景となっているとともに、集落地内の神社や屋敷等に大木が見られる。

[水]

自然の河岸、良好な水質をもつ河川は、川遊びなど自然とのふれあいが充分楽しめる空間となっている。

■歴史系

縄文、弥生時代の人々の足跡を残す古代の文化遺跡が多く発見されている。

■都市系

[まち並み]

田園地帯、山並み、海岸線及び点在する集落によって構成される地区であり、自然景観が主体となっている。ところによって、緑の山裾に戸建住宅や集合住宅が建てられ、平地から山並みを望む眺望景観を阻害しているケースもみられる。

[道路]

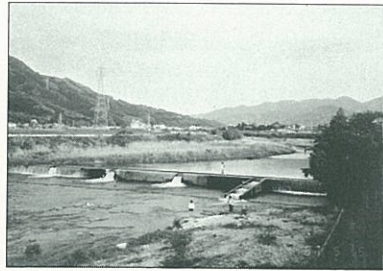
広がりのある空間の中で幹線道路が地区の基本軸となっており、各居住地域と地区内道路によって結びつけられている。地区内道路は、既存の細街路や農道等を利用したもので、道路幅員も狭く安全性、快適性に欠ける場合もある。

[動向]

都市計画法による市街化調整区域の指定により、新たな開発が規制されている地区であり、現状の保全が図られている。全体的に自然景観が良好に残されているが、地区によっては郊外性の自然環境をセールスポイントとした新たな集合住宅の建設も見られる。

■その他

郊外の沿道には、広告・看板が多く、おだやかな田園風景を損ねているものがある。



課題と基本方針

■課題

- ・ゴミ、空ビンの投げ捨てなど、外来者による環境悪化の防止。
- ・自然景観に調和した色彩、形態をもつ建物の誘導。
- ・幹線道路沿線の広告・看板の規制・誘導。

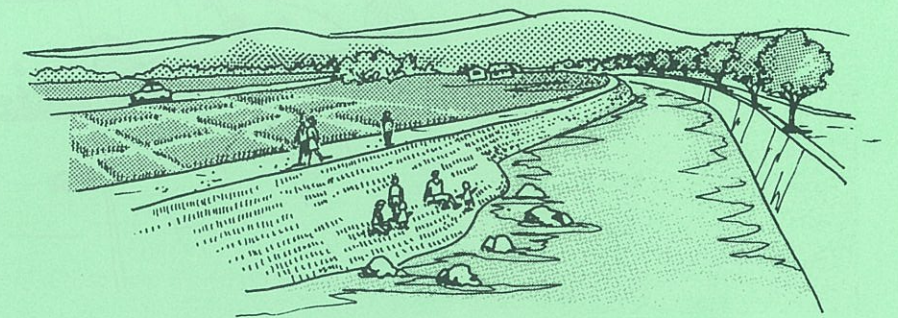
■基本方針

- ・豊かな水・緑を活かしたレジャー、レクリエーションゾーンの形成。
- ・良好な自然景観の保全と自然を活かした土地利用の推進。

整備イメージ



気軽に訪れることのできる海浜レクリエーションゾーン



身近に親しまれる水辺のオープンスペース



自然を活かした環境づくり

8

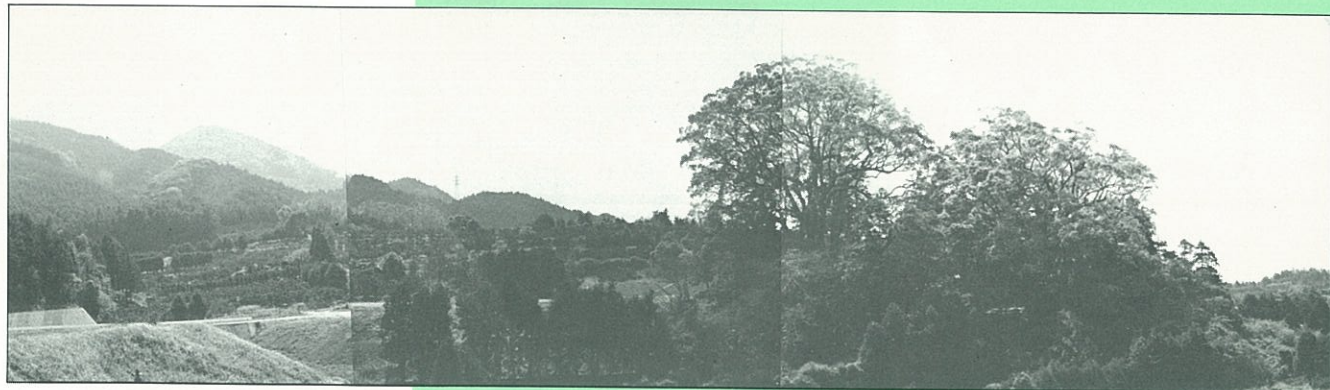
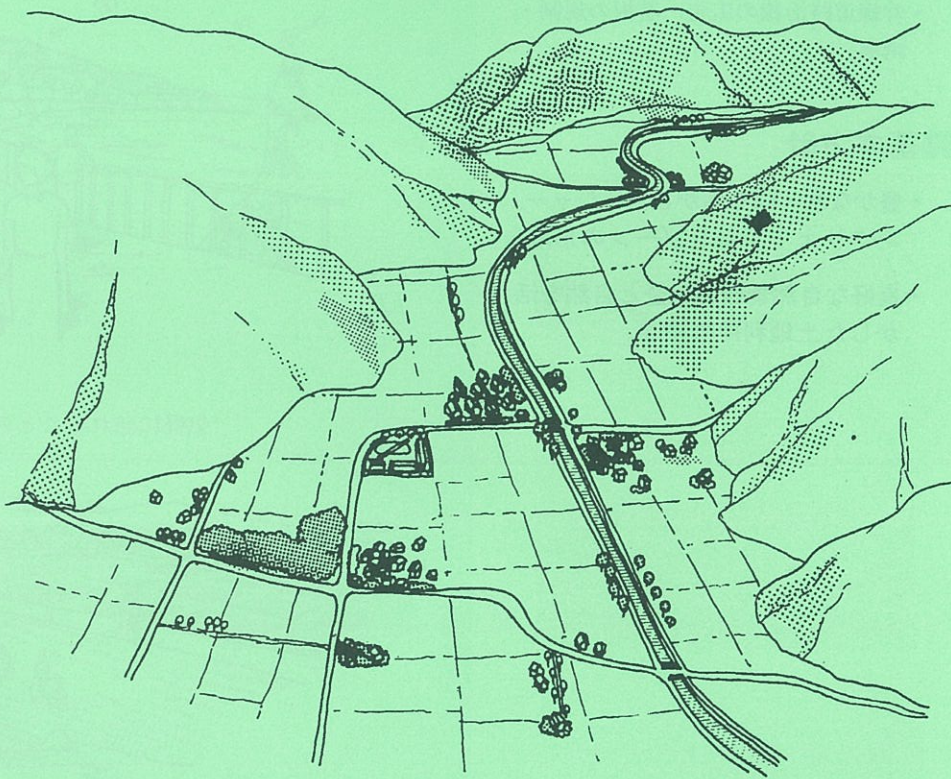
山の辺

糸島、飯盛山・背振山、
立花山地区等

一般特性

[形成過程]

必要以上に人の手が加えられずに自然の地形、植生が昔から受け継がれている地区。

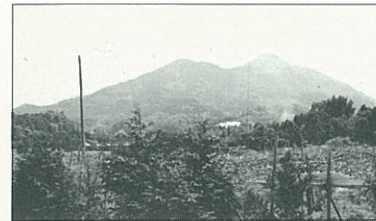


景観特性

■ 自然系

[緑]

市民に近付きやすい近郊の緑地として、二次林などがレジャー、レクリエーション、森林浴等に有効に活用されている。



■ 歴史系

立花山には山城の立花城跡、油山には時代を経たお寺などが残る。

■ 都市系

[まち並み]

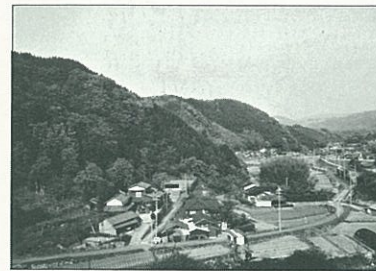
古くからの農業、林業を営む小さな単位の集落が自然環境の中に調和している。

[道路]

山をぬけて、市外に通じる幹線道路や集落内の小さな道路がみられる。油山には観光ドライブ道路があり、市街地の眺望や、ハイキング等に利用する人が多い。その他、主要な山並みをめぐって登山道、ハイキング道も整備されつつある。

[動向]

ホテル、レストランなど営業施設が良好な自然環境をセールスポイントに立地する例がみられる。



課題と基本方針

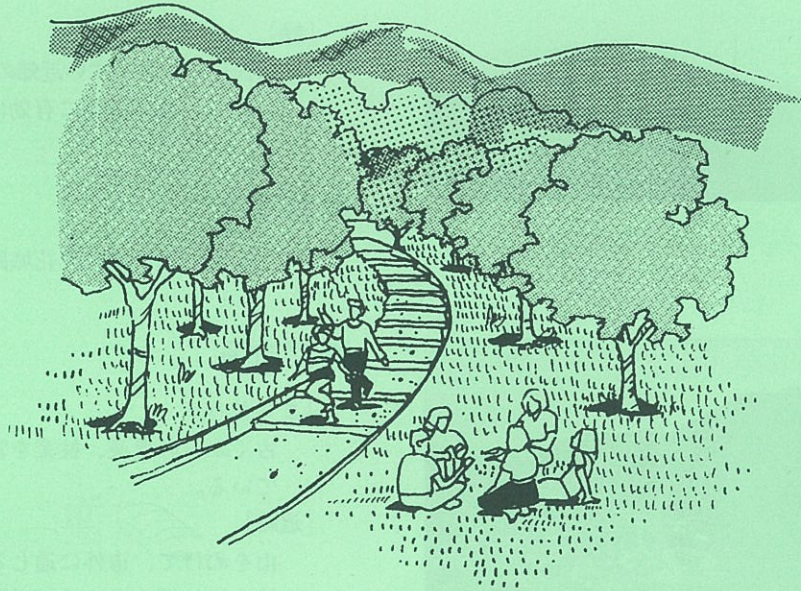
課題

- ・市民が自然に親しめる場の不足。
- ・自然に埋もれた歴史的資源の掘りおこし。

基本方針

- ・自然緑地の保全。
- ・自然に融け込んだレクリエーションの場、自然遊歩道等の整備。
- ・歴史的資源を保全・活用した自然環境の演出、整備。

整備イメージ



自然散策の場（眺望点）



自然を舞台にしたレクリエーションの場

9

流通・工業

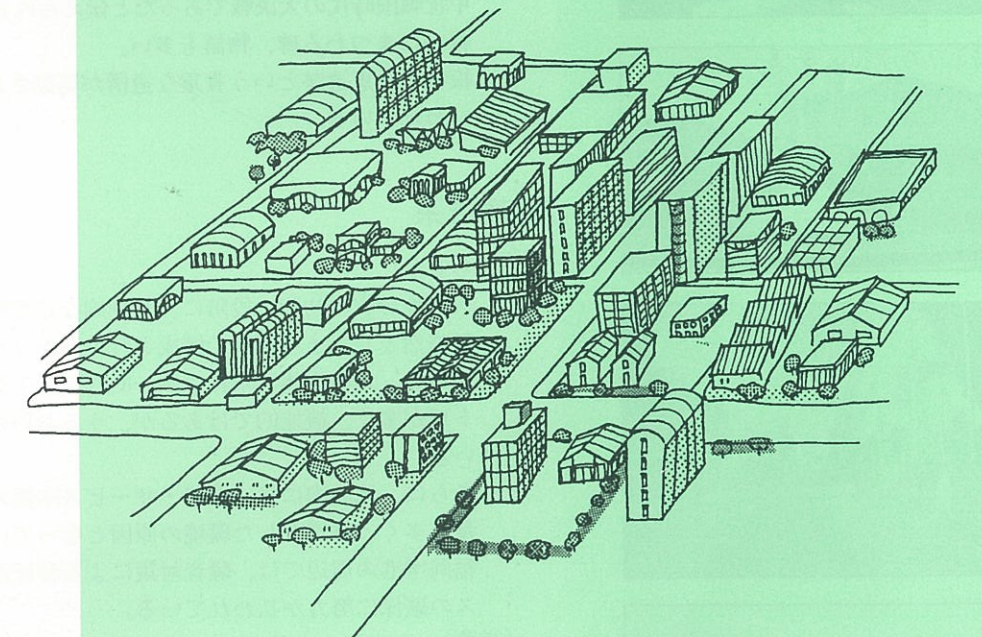
多の津、榎田、竹下地区等



一般特性

[形成過程]

戦後、国道3号線及び同バイパスという九州を縦断する陸の大動脈を軸にし、軽工業を主体とする工業系施設の集積によって形成された地区であり、土地利用が、工業系に特化した部分と住宅が併存している部分がある。昭和47年、多の津に流通業務団地（流通センター）の造成が完成し、その後は福岡空港、高速道路との良好なアクセスを活かして、流通、サービス施設の立地が目立つようになり、まとまった流通工業系土地利用となっている。



景観特性

■自然系

[緑]

地区内には自然樹林が少なく、緑の乏しい地区となっている。最近進められている空港周辺の緑地整備や民間施設の緑化により、少しずつ緑のボリュームが増してきている。

[水]

多々良川、宇美川を中心にその支流の河川が地区内を走り水鳥の飛来も多く、比較的水辺空間に恵まれており、多様な活用が望まれている。

■歴史系

中世戦国時代の大決戦であったと伝えられる多々良川合戦の舞台であり、戦いにまつわる碑、物語も多い。

板付、比恵遺跡という貴重な遺構が発掘されており、弥生遺跡の宝庫といわれている。

■都市系

[まち並み]

市街地形成の初期の段階に、計画的な基盤整備が行われた流通センターは整然としたまち割りで構成され、わかりやすく単純なまち並みとなっている。地区全体は単純で画一的な流通工業系施設や集合住宅（アパート）が多く、機能的ではあるが、うるおいの不足するまち並みとなっている。

さらに、地区内には、業務・サービス車輛の進入、特に大型車輛の通行量も多く、雑然とした環境の原因となっている。

福岡空港の周辺では、騒音対策による移転跡地に緑地等オープンスペースの確保に努力が払われている。

[道路]

幹線道路から地区内道路までよく整備された道路網となっているが、快適性と安全性を備えた歩行者空間とそのネットワークが不足する。

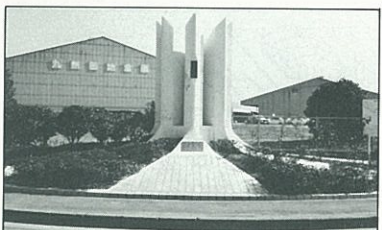
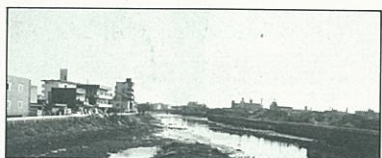
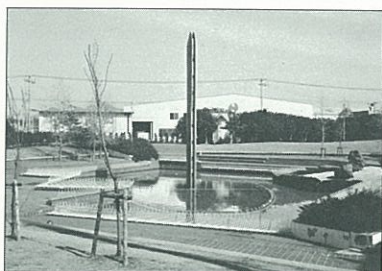
空港と市街地を結ぶ連絡道路は、都心へのアプローチ空間としてふさわしい緑化による修景が行なわれている。

[動向]

空港周辺地区の流通工業系以外の立地は少なく、余り変化はみられない。

■その他

空港周辺には大型の広告・看板が目立つ。



課題と基本方針

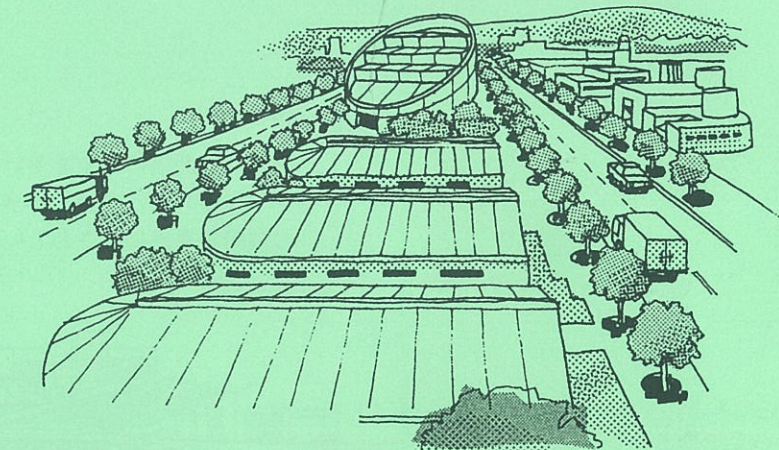
■課題

- ・うるおいのない道路空間の改善。
- ・画一的で変化の乏しいまち並みのアクセントづくり。

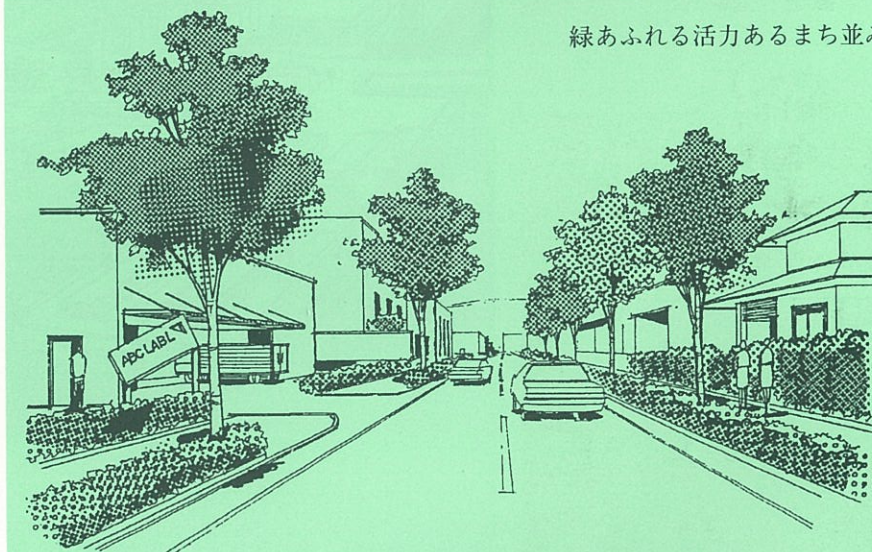
■基本方針

- ・道路、民有地緑化によるゆとりを感じさせるまち並みの形成。
- ・色彩等による修景。

整備イメージ



緑あふれる活力あるまち並み



住工混在地区の整備



快適な働き場